Beyond 2030

私たちは、2030年、さらにその先を見据えて、社会と人の可能性を拓き、次の社会へ信頼のこたえを届けていきます。

ヒューマノイドロボット「Kaleido」

自律移動ロボット「Nyokkey」

造船ロボット

Webサイト「ANSWERS」では関連記事をご紹介しています。

社会課題の解決に挑む「フィジカルAI」

人とロボットがともに活躍する社会を創る

少子高齢化による労働力不足や技能継承、災害対応など、社会課題はますます深刻化・複雑化しています。私たちは、こうした課題の解決に向け、人と協調しながらさまざまな現場で人を支えるソーシャルロボットの開発に取り組んでいます。
近年、AIはデジタル空間から現実世界へと活躍の場を広げ、フィジカルAIへと進化しています。この進化により、ソーシャルロボットの可能性は大きく広がっています。私たちは、長年培ってきたロボット技術と現場知見を生かし、人とロボットがともに活躍する社会の実現を目指しています。そして、社会課題の解決に貢献するとともに、人々の暮らしや産業を支える新たな価値を創出していきます。

社長直轄プロジェクト本部
ソーシャルロボット
事業戦略部 特別主席
藤本 浩明

安全安心リモート社会

神戸港（当社神戸工場岸壁近く）での育成試験

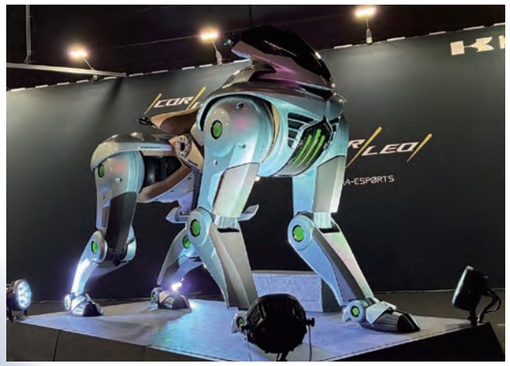
育成試験で水揚げしたトラウトサーモン

港で育てる、おいしい未来　「MINATOMAÉ」

食料問題の解決に貢献する持続可能な水産養殖システム

世界が人口100億人時代を迎えようとする中、タンパク質クライシスや食料安全保障への関心が高まっています。加えて、赤潮や高水温の影響により、水産業は深刻な打撃を受けています。こうした課題に対し、都市の近郊でも安全で安心な魚を届けられる「MINATOMAÉ」システムは、これからの「食」を支える新たな社会インフラになる可能性があると考えています。川崎重工が培ってきた技術で育てた魚が当たり前に食卓へ並ぶ未来を実現したい。社内外のさまざまな関係者と力を合わせながら、その実現に向けて挑戦しています。

技術開発本部
イノベーションセンター
事業化推進部
食料安全保障プロジェクト
マネージャー
佐野 敦司


多脚型ロボットビークル「CORLEO」

近未来モビリティ

ワクワクを形に　多脚型ロボットビークル「CORLEO」

社長直轄プロジェクト本部
SAFE ADVENTURE
事業総括部
ビジネスオペレーション部
グローバルパブリック
アフェアーズ ヘッド
田中 那美

CORLEOという乗り物を通じて社会に新たなライフスタイルを提案することを目指す

CORLEOは、ロボティクスによる4脚の悪路走行性能と、モーターサイクルで培った操縦性・安定性を融合し、乗馬のような重心移動で操る新しいモビリティです。さらに、ライディングシミュレータを通じてリアルとバーチャルの双方で楽しめる体験価値の創出を目指しています。技術開発にとどまらず、社会からどのように受け取っていただけるか、どのような顧客にお届けするか、新たなライフスタイルの提案として創り上げていきます。そして2030年リヤド万博をはじめ、世界の舞台でCORLEOをご披露することを目指しています。

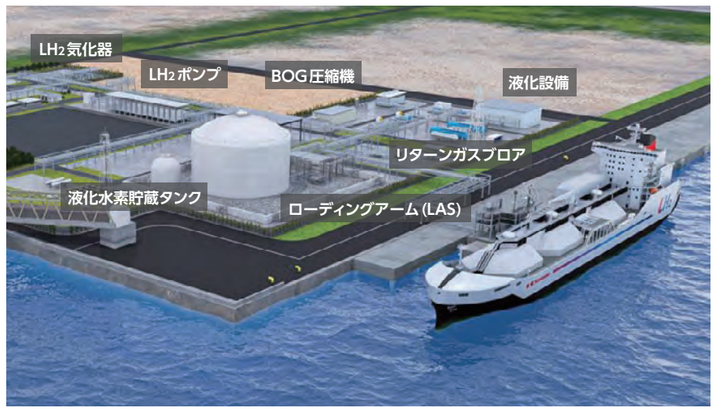
エネルギー・環境ソリューション

脱炭素社会を創る　水素サプライチェーンの構築

水素戦略本部
PR戦略室長
藤田 雅和

水素を「暮らしを支える社会インフラ」にする

水素社会の実現には、優れた技術だけでなく、人々の共感を力に変え、社会を動かすことが欠かせません。
川崎重工は「水素起動2030」を合言葉に、水素サプライチェーンの価値を発信しながら、多様な企業や自治体、地域の皆様とともに、新たな共創の輪を広げています。水素を未来の選択肢ではなく、暮らしを支える社会インフラへ。その実現に向け、挑戦を加速していきます。



GI基金事業
液化水素サプライチェーンの
商用化実証